

武里地区公民館・武里東公民館

◇運営の基本方針

生涯学習の拠点施設の一つとして、「つどう」・「まなぶ」・「むすぶ」という公民館の原点に基づき、地域の連帯を深め、地域の発展や生活文化を高める事業に取り組む。

◇重点施策

- 1 近隣の自治会と連携し、モデル事業として防災をテーマにした各種事業を実施する。
- 2 公民館利用者の学習成果の発表を通じて利用者相互の交流等を図る。
- 3 地区をあげたスポーツ・レクリエーションの祭典で、地区住民の健康と体力の向上及び相互の交流と親睦を深める。
- 4 新たに活動したい人へ情報発信を行うだけでなく、新規サークルの立ち上げを見据えた講座を開催し、地域住民の自主参加の機会を作る。

◇重点事業

- 1 武里地区公民館防災対策事業（モデル事業）
- 2 武里市民センターまつり
- 3 武里地区体育祭
- 4 サークルスタート

武里地区公民館

所在地 〒344-0033 春日部市備後西一丁目13番2号

TEL 048-735-3004

FAX 048-737-3033

E-mail takekou@city.kasukabe.lg.jp



武里東公民館

所在地 〒344-0032 春日部市備後東七丁目38番16号

TEL 048-735-2527

FAX 048-735-2527


E-mail taketonkou@city.kasukabe.lg.jp



職員	館長（兼務）	会田和彦
	主査（兼務）	小川裕司
	主任（兼務）	内海美智広
	主任（兼務）	松本直
	主任（兼務）	梅津裕介
	主任（兼務）	石井春花（社会教育主事）
	フルタイム（兼務）	谷口和洋（～5月末）
	フルタイム（兼務）	大塚洋子
	フルタイム（兼務）	大沢亜希（6月～）


武里地区 1

事業名 テーマ	防災対策事業		対象	地域住民		定員	事業により異なる	
ねらい	地域防災について、それぞれの自治会が抱える悩みや課題の解消をめざして、座学と実践を通じて、各自自治会において応用できる内容で実践する。自治会と公民館の連携のみならず、自治会の横の連携も強固なものにし、情報を共有しながら、武里地区全体で継続して取り組んでいくことをめざす。							
協力機関及び団体	武里公隣防災対策連絡協議会 (備後同友自治会、備後朝日ヶ丘自治会、備後須賀第四自治会)		特色 位置づけ	地域団体との連携事業		SDGs の目標No	4・11・13・17	
会場	武里地区公民館		教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施までの経過	前年度代表者会議・企画運営委員会で事業について決定。その都度事業の詳細を協議し、決定。		PR方法	ポスター・チラシ 広報「ぼうさい」				
			受付方法	その都度、異なる				
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
随時開催	平均約70分	会議(代表者会議6回、企画運営委員会9回)	会議	73	20	93		
5月21日(土)	14:00~14:30	「おねがい会員」訪問顔合せ会事前説明会	会議	16	4	20		
5月21日(土)	15:00~15:45	グラウンドレイアウト検討会①	会議	7	2	9		
6月~11月	平均約70分	10周年記念誌打合せ(5回)	会議	23	5	28		
7月23日(土)	15:00~16:00	グラウンドレイアウト検討会②	会議	8	0	8		
8月27日(土)	13:00~16:50	防災訓練	訓練	25	11	36		
8月30日(火)	14:00~15:20	ぼうさい小町武里事前打合せ	会議	1	3	4		
9月3日(土)	10:00~12:00	ぼうさい小町武里①	会議	3	9	12		埼玉県男女共同参画推進センター職員
12月3日(土)	10:00~12:00	ぼうさい小町武里②	会議	2	14	16		埼玉県男女共同参画推進センター職員
12月10日(土)	14:50~15:30	グラウンドレイアウト検討会③	会議	8	1	9		
1月13日(金)	13:00~14:00	防災をかんがえる日打合せ	会議	2	0	2		
1月28日(土)	15:00~16:00	キッズマスター事前打合せ	会議	7	2	9		
1月29日(日)	13:30~16:30	目指せ!イツモ防災キッズマスター	体験	9	3	12		
3月5日(日)	14:00~16:00	第10回防災をかんがえる日	講演	30	16	46		日本マネジメント総合研究所合同会社 理事長 戸村 智憲
3月9日(木)	13:30~14:00	令和4年度会計監査	会議	4	0	4		
3月18日(土)	10:00~12:10	ぼうさい小町武里③	会議	2	7	9		埼玉県男女共同参画推進センター職員
毎月1日		広報「ぼうさい」発行						3自治会全戸配布
28回	38時間3分			220	97	317		
企画運営上の工夫	グラウンドへ車を乗り入れる際にどのように車を駐車すれば良いかレイアウトの検討を行うことで、災害時に焦らず車を誘導できるようにした。							
成果参加者の声など	今年度で公隣防災対策連絡協議会が10周年を迎えたため記念誌の作成を行った。							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・活動班の各役割の再認識。 ・若年層の参加意欲の向上。 							

事業名 テーマ	子育てサロン		対象	0歳児～5歳児 その保護者		定員	15組（～10月） 定員定めず （11月～）	
ねらい	育児中の親子が集い、簡単な遊びを通じて参加者同士の交流を図る。また、専門的な知識・経験を持つ主任児童委員や保育士等への相談の場を設けることで、育児における様々な不安を解消し、安心して子育てができる環境を整える。							
協力機関 及び団体	春日部市民生委員・児童委員協議会 主任児童委員連絡会、こども相談 課、生活支援課		特色 位置づけ	子育て支援事業		SDGs の目 標No	3	
会場	武里地区公民館 研修室1、研修室2、 教養室1、教養室2		教材 資料等					
実施ま での経 過	2月下旬 3月1日（火） 4月1日（金）		PR方法	公民館だより 安心安全メール				
	各課に共催打診 打ち合わせ 公民館だより4月号 以降、各号にて告知			受付方法	こども相談課に電話で。（～10月） 当日直接（11月～）			
月日（曜）	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男	女	合計		
回数	総時間数			計	計	合計		
4月12日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談	交流 実習	4	18	22		
5月17日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		4	15	19		
6月7日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		1	22	23		
7月5日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		3	19	22		
8月2日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		中	止	0		
9月6日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		中	止	0		
10月4日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		6	21	27		
11月1日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		8	20	28		
12月6日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		4	10	14		
1月17日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		4	17	21		
2月7日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		4	25	29		
3月7日（火）	10:00～11:30	簡単な遊び、交流、相談		11	28	39		
12回	19時間			49	195	244		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の準備や運営等にも関わり参加者とコミュニケーションをとることで、子育て中の保護者が参加しやすい環境となるよう工夫した。 ・こども相談課、生活支援課との連携を図ることで、事業のスムーズな運営を行えるようにした。 							
成果 参加者の 声など	<ul style="list-style-type: none"> ・育児で不安をもっているにもかかわらず自主的に相談をすることが難しい保護者も多いが、自由あそびの時間などに助産師や主任児童委員、参加者同士で世間話をすることで自然に悩みを相談する様子がみられた。 ・保育士による手遊びに子どもたちも楽しそうに参加していた。 							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士、子ども同士の交流の場となっている。気軽に話せる雰囲気づくりを今後も行うことで、保護者同士、助産師や主任児童委員と交流をより図れるようにしたい。また、育児中のパパの参加もあり、家族での参加やパパと子どものみの参加もしやすい環境や広報を行いたい。 							

武里地区 3

事業名 テーマ	ふれあい教室 キッズフェスタinたけさと		対象	小学生		定員	夏：60名 冬：80名	
ねらい	コロナ禍で外出の機会が減っている小・中学生を対象に、遊びの場を提供するとともに、公民館は楽しい場所だと感じてもらう機会とする。また、実施するそれぞれの企画をとおして、世代間交流の場を提供する。							
協力機関 及び団体	<ul style="list-style-type: none"> 春日部市子ども会育成連絡協議会 共栄大学子ども教室サークル 「春日部市二十歳を祝う会 実行委員会 企画運営部会」有志 武里公隣防災対策連絡協議会 年少リーダー ・備後同友自治会 J A南彩 ・市社会教育課 		特色 位置づけ	小学生を対象に、楽しい思い出づくりの場を提供する。		SDGs の目 標No	4・11	
会場	武里地区公民館 全館		教材 資料等	全体を通したパンフレットに加え、プログラムごとに必要資料を用意				
実施ま での経 過	7月12日(火) 5小学校にチラシ配布依頼 8月 3日(水) 館内飾付け 8月 4日(木) 本番 11月16日(水) 5小学校にチラシ配布依頼 12月23日(金) 館内飾付け 12月24日(土) 本番		PR方法	公民館だより (7月号・11月号) 学校配布チラシ				
			受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付。冬は、メールでも受け付けた。				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
8月3日(水)	13:30~17:00	飾付け	実習	5	9	14	各協力団体 	
8月4日(木)	13:30~16:30	本番	実習	22	36	58		
12月23日(金)	13:00~16:30	飾付け	実習	6	9	15		
12月24日(土)	13:30~17:00	本番	実習	17	38	55		
4回	13時間30分			50	92	142		
企画運営上 の工夫	<p>【夏】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当日の内容には、水鉄砲射的やヨーヨー釣り等の夏らしいものも取り入れた。 地域からの要望の声を受け、近隣自治会協力のもと、公民館での花火イベントを取り入れた。 <p>【冬】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前のわくわく感を高める仕掛けとして、招待状を発送した。 メールでの事前受付期間を設定した。 <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 館内の飾り付けは、中学生以上の公募ボランティア（公民館飾り隊）にお願いした。 新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、 <ul style="list-style-type: none"> ①参加者を3グループに分け、それぞれのスタート時間をずらすことで密を回避した。 ②走らない、大きな声を出さない等のようなルールを設定し、スタート前に説明の場を設けた。 							
成果 参加者の 声など	参加者アンケートを実施し、夏は84%、冬は98%の参加者が楽しかったとの回答だった。また、公民館飾り隊に参加してくれる中学生・高校生も増えてきており、公民館職員だけでは考えつかなかったようなアイデアが多数出ていた。参加者アンケートには、公民館の飾りが楽しかったとの声があり、公民館飾り隊からも、「飾り付けがこんなに楽しいと思わなかった」等の声があり、飾り隊、参加者共に楽しんでもらうことができた。							
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> アンケートの「今後実施して欲しい企画」に多数の声があったため、その声を参考にしながら、企画を立てたい。また、飾り隊として参加してくれた中学生以上の方には、今後も活躍の場を用意したい。 夏の花火企画は雨天により中止となってしまったが、地域からの要望もあるため、次年度も実施を検討したい。 							

事業名 テーマ	ふれあい教室 「植付から収穫まで いもほり!!! ～みんなあつまれ2022～」		対象	小学生と その保護者	定員	小学生 20名	
ねらい	子どもたちに芋掘りを通して、食の大切さ、土に触れる大切さ等を学ぶ機会を作る。食育の観点から、食物がどのように育つか、収穫だけでなく植えることから経験する。また、異学年交流や世代間交流も取り入れ、ただ参加・体験するだけではなく、仲間づくりやコミュニケーション能力の向上も合わせて図るものとする。						
協力機関 及び団体	菜園サークル「ワンダース」 春日部南中学校	特色 位置づけ	食物の生育を通じて人と自然に触れ合う事業とする	SDGs の目 標No	11		
会場	武里地区公民館 武里地区内農園	教材 資料等	学習帳 サツマイモの苗				
実施までの経過	3月2日(水)	打ち合わせ 公民館だより4月号 申し込み開始	P R 方法	公民館だより ポスター			
	4月1日(金) 4月8日(金) 4月13日(水) 4月24日(日)		受付方法	武里地区公民館に直接または電話で。先着順。 参加費 子ども1人 500円。 (苗代と立札代)			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月29日(金)	9:00～11:30	オリエンテーション・植付等	講義 実習	4	28	32	菜園サークル 「ワンダース」
7月2日(土)	9:30～11:30	つる返し・生育観察	実習	7	26	33	
11月6日(日)	9:30～11:30	収穫	実習	7	27	34	
3回	6時間30分			18	81	99	
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・作物を通じて自然への関心・興味を持てる内容とした。 ・共同作業など親子の育みや信頼を構築できる事業とした。 ・オリエンテーションにて、学校行事の関係で当初予定していた収穫日11月5日(土)を11月6日(日)に変更を参加者に周知。 						
成果参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫までの大変さを感じてもらえる声がある一方で自分で掘れたという達成感も得られた。 ・保護者の方からも子ども達が喜ぶ姿を見れて良かったとの声が寄せられた。 						
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> ・設定したスケジュール日以外にも畑の手入れが必要なので積極的に畑へ出向いてもらえるようオリエンテーション等で周知を図れる内容を取り入れる。 ・学校行事等の事前確認を行いスケジュールの調整を早期にできるようにする。 						

武里地区 5


事業名 テーマ	ふれあい教室 目指せ！星博士	対象	中学生以下とその保護者	定員	小中学生 10人		
ねらい	子どもたちを対象に、自然に触れ合う機会を増やすことで、心の成長を図る。また、参加者間での交流を図ることも目的とする。						
協力機関 及び団体	特に無し	特色 位置づけ	3回シリーズの講座とすることで、自然への理解を深める。また、全3回への参加者には修了証を授与する。				
会場	武里地区公民館 研修室1及び屋上	教材 資料等	講師作成資料	SDGs の目 標No	4・11		
実施ま での経 過	5月12日(木) 講師打合せ 7月 1日(金) 公民館だより7月号 7月13日(水) 講師打合せ 9月8日(木) 講師打合せ		PR方法	公民館だより「武里」7月号 ポスター			
			受付方法	7月14日(木)8時30分から先着順 に、武里地区公民館で直接または 電話で受け付ける。			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
8月7日(日)	18:30~20:30	オリエンテーション ・ペルセウス座流星群 観測 ・星座早見盤作り	講義 及び 観望	3	4	7	草加天文愛好会 (スペース・ワンダー) 三田 明
10月2日(日)	18:00~20:00	・秋の星座 観測 ・二大惑星(木星・土星) 観測		3	3	6	
12月18日(日)	17:30~19:30	・火星大接近 観測 ・修了式		4	3	7	
3回	6時間00分			10	10	20	
企画運営上 の工夫	・夜間の公民館屋上での観望が主となるため、バリケードや照明など安全面における配慮を十分に行った。また、保護者同伴や送迎を条件とする事業とした。 ・屋内講義においても映像を用いて分かりやすい内容とした。						
成 果 参加者の 声 など	・天体観測についてさらに興味が沸く内容となったとの声が多数あった。 ・親子で自然と触れ合い、学べる機会になった。						
課題と展望	・屋外での事業となるため、季節による寒暖や体調管理についても考慮して実施していく必要がある。安全面においても引き続き対応して安心して参加できる事業としたい。						

事業名 テーマ	武里小学校放課後子ども教室 わかたけっこひろば		対象	武里小学校児童	定員	コーナーによる	
ねらい	公民館近隣の小学校である武里小学校の児童を対象に、放課後あるいは土曜日の子どもの居場所作り、体験の場を提供するものとして市内で唯一公民館と学校が共催で事業を実施している。平日は小学校の空き教室やグラウンドを使って、土曜日は公民館にて、学校ではできないことを体験する場として、地域の方や公民館利用サークルを講師に迎え事業を実施している。						
協力機関 及び団体	共催：武里小放課後子ども教室「わかたけっこひろば」実行委員会	特色 位置づけ	公民館利用サークル、地域の方の協力を得て、公民館で事業を実施		SDGs の目標No	11	
会場	武里地区公民館 全館	教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施までの経過	前年度の実行委員会で令和4年度の日程及び内容を協議	PR方法	チラシを武里小学校全児童に配布				
		受付方法	武里小学校で期日指定で申し込み。参加費は、各講座で異なる。				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月12日(火)	9:00～10:00	実行委員会	会議	7	10	17	室内スポーツ… スポーツ推進委員
6月11日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	24	25	49	
7月9日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	22	22	44	チアダンス… ATLAS SPIRITS
8月20日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	13	10	23	
9月10日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	20	19	39	和楽器…山桐会
11月12日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	18	21	39	工作…地域ボランティア
12月10日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	20	17	37	フラダンス… クラブアエケアロハ
1月14日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	20	18	38	
2月11日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	18	16	34	
3月11日(土)	9:30～11:30	どようひろば	実習	20	18	38	
3月11日(土)	11:30～12:15	実行委員会	会議	8	9	17	
11回	19時間45分			190	185	375	
企画運営上の工夫	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密な状態を作らない、マスクを着用する、換気をすることに特に注意を払い、実施した。						
成果参加者の声など	昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催日程の半分以上が中止となってしまったが、今年度は予定されていた開催日程全て実施することができた。また、様々な年代のボランティアスタッフがいるため、世代間交流の場にもなった。						
課題と展望	学校と歩調を合わせながら実施していく必要があるが、子どもたちにとっての貴重な体験の機会であり、また、サークル・公民館の活性化にもつながるため、公民館利用サークル・地域の方と積極的に連携し、「地域の子どもたちを地域で育てる」仕組みを継続していきたい。今後も、様々な方のご協力をいただきながら、事業を盛り上げていきたい。						

武里地区 7

事業名 テーマ	たけさとカフェ	対象	一般	定員	30～ 90名		
ねらい	毎月1回、気軽な雰囲気の中で1つのテーマについて学ぶ場を作る。また、市民主体の取り組みにするため、公募による企画運営委員に、事業内容の企画及び当日の運営への協力を依頼し実施する。						
協力機関 及び団体	各講師の所属する機関・団体	特色 位置づけ	企画運営委員の 協力による市民 主体の事業	SDGs の目 標No	4・11・ 17		
会場	武里地区公民館 研修室1または講堂	教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施ま での経 過	前年度の企画運営委員会において、プログラム内容を検討した。実施前月の公民館だよりで広報	PR方法	公民館だより ポスター・チラシ				
		受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月15日(金)	14:00～16:00	健康と姿勢	講義	1	20	21	山本 妙子
5月20日(金)	14:00～16:00	みんなで楽しく脳トレ!	講義	4	23	27	城川敬三
6月17日(金)	14:00～16:00	「ゆったり踊り」を学ぼう!	講義	0	10	10	ゆったり踊り保存会
7月15日(金)	14:00～16:00	夏の暑さ対策を学ぼう!	講義	9	16	25	ウエルシア薬局 来栖 壮・野見山 幸子
8月19日(金)	14:00～16:00	睡眠と健康について学ぼう!	講義	9	23	32	明治安田生命保険相互会社出前講座
9月16日(金)	14:00～16:00	マイナンバーカードについて学ぼう!	講義	12	24	36	政策課・市民課職員
10月21日(金)	14:00～16:00	出張!武里の歴史を学ぼう!	講義	5	3	8	郷土資料館 職員
11月18日(金)	14:00～16:00	運動とストレッチでフレイル予防	講義	3	35	38	全国老人クラブ連合会 認定健康づくり推進員 田中 道子
12月16日(金)	14:00～16:00	冬の過ごし方	講義	2	16	18	埼玉県立大学共通教育科 滑川 道人
1月20日(金)	14:00～16:00	マジック&歌謡ショー	講義	5	30	35	ダーク浜・富士 琴美
1月20日(金)	16:15～17:15	次年度打合せ	会議	8	3	11	
2月17日(金)	14:00～16:00	たけさと落語会	講義	19	59	78	越谷サンシティ落語研究会
3月17日(金)	14:00～16:00	ライブ&エンディングを考えよう	講義	5	21	26	明治安田生命保険相互会社出前講座
13回	25時間			82	283	365	
企画運営上 の工夫	市民主体の運営をめざし、企画運営委員にプログラムの企画及び当日の会場準備や受付等をお願いした。						
成 果 参加者の 声 など	毎月第3金曜日の午後の開催が定着し、毎回楽しみに参加してくれる方も多い。今年度は10月～12月の3か月連続で、「SDGs」について、その概要から身近なことまでを学ぶ機会を作った。(3回通して参加した方は9人)						
課題と展望	今後も、企画運営委員の協力を得ながら進めていきたい。また、テーマについては、アンケート結果を参考にしながら、市民のニーズにあった内容や地域の課題解決につながるように選定していきたい。						

事業名 テーマ	オレンジカフェ「アサンテたけさと」		対象	認知症の方やご 家族の方	定員	20人	
ねらい	認知症の方やその家族、認知症に関心のある方などが、気軽に参加できる集いの場をつくる。また、認知症についての学習・研修の場をつくり、地域における認知症への理解を深めるとともに、ボランティアスタッフの育成、援助に努める。						
協力機関 及び団体	共催：春日部市第4地域包括支援センター	特色 位置づけ	ボランティアス タッフの協力で 運営	SDGs の目 標No	4・11		
会場	武里地区公民館 3階研修室1	教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施ま での経 過	実施前月及び当月の公民館だよりで 募集	PR方法	広報かすかべ 公民館だより				
		受付方法	実施月の1日から第4地域包括支 援センターに直接または電話で				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月16日(土)	10:00~11:30	脳トレパズル、 作品作り、簡単な体操 など	実習	1	19	20	春日部市第4地域 包括支援センター
5月21日(土)	10:00~11:30		実習	0	15	15	
6月18日(土)	10:00~11:00		実習	1	18	19	
7月16日(土)	10:00~11:00		実習	0	16	16	
8月20日(土)	10:00~11:20		実習	0	14	14	
9月17日(土)	10:00~11:30		実習	0	20	20	
10月15日(土)	10:00~11:30		実習	1	19	20	
11月19日(土)	10:00~11:30		実習	0	20	20	
12月17日(土)	10:00~11:30		実習	0	17	17	
1月21日(土)	10:00~11:30		実習	0	14	14	
2月18日(土)	10:00~11:30		実習	1	20	21	
3月18日(土)	10:00~11:30		実習	1	16	17	
12回	16時間50分			5	208	213	
企画運営上 の工夫	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、事前申込制及び定員20人の条件を継続した。毎回参加の方も多数いらっしゃるため、製作するものを毎回変えたり、新しいプログラムを取り入れたりする等の工夫をした。						
成果 参加者の 声など	「今日は何の日？」や「懐かしい歌を歌う」での参加者の懐かしそうな顔をはじめ、楽しそうに過ごしている様子が印象的だった。また、認知症のご家族と一緒に参加された方もいらっしゃり、地域の見守りにもつながっていた。						
課題と展望	新型コロナウイルス感染拡大防止対策は緩和傾向となっているが、当事業は高齢者が主な参加者であるため、共催となる第4地域包括支援センターとこまめに打合せをしながら、対策をとる範囲を決めていきたい。また、事業の運営に関わってくださっているボランティア「ニコニコ会」の皆さんにも引き続きご協力いただき、「こんにちは!」「おひさしぶり!」「元気?」のやり取りができるよう公民館もアイデアを出していきたい。						

事業名 テーマ	オレンジカフェ		対象	認知症の方やご 家族の方		定員	20人	
ねらい	地域にお住いの認知症の方やそのご家族、認知予防に関心のある方などが、気軽に活動できる集い・交流の場をつくり、認知症についての情報交換・学習・研修などを実施し、地域における認知症への理解を深める。また、地域住民ボランティアの運営スタッフによる、地域に根付いた見守り活動につなげていく。							
協力機関 及び団体	共催：春日部市第5地域包括支援センター	特色 位置づけ	ボランティアスタッフの協力で 運営		SDGs の目 標No	4・11		
会場	武里東公民館 大会議室		教材 資料等	プログラムにより異なる				
実施ま での経 過	実施前月及び当月の 公民館だよりで募集		PR方法	公民館だより ポスター・チラシ				
			受付方法	電話で先着順に、第5地域包括 支援センターで受け付け				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
4月9日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	0	15	15	春日部市第5地域 包括支援センター 	
5月14日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	16	19		
6月11日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	2	9	11		
7月9日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	10	13		
8月20日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	2	9	11		
9月10日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	16	19		
10月8日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	15	18		
11月12日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	2	18	20		
12月10日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	19	22		
1月14日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	19	22		
2月18日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	4	22	26		
3月11日(土)	13:30~15:00	工作・体操・相談	実習	3	23	26		
12回	18時間			31	191	222		
企画運営上 の工夫	昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと行い、工作や体操を取り入れ参加しやすい雰囲気づくりに努めた。相談コーナーも、話が聞けない様に少し離して設けた。また、孤立してしまう方がでないよう、スタッフで目を配り声掛けをした。							
成 果 参 加 者 の 声 な ど	当事者の相談が増えた。参加者同士も顔見知りになり、打ち解けていた。工作の時など、助け合いながら、制作している姿も見受けられた。毎回のオレンジカフェを、とても楽しみにしているとの声もありました。							
課題と展望	当事者の相談が増えているため、第5包括支援センターからも、ボランティアの数を増やせるように工夫する必要があるとの意見も出ている。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、音楽鑑賞も積極的に取り入れたり、参加者も歌えるようにするとともに楽しみも広がる。							

事業名 テーマ	やってみよう！！ スマホでインターネット		対象	65歳以上でスマホをお持ちの方		定員	各回10人	
ねらい	デジタルデバインド対策の一環として、高齢者向けのスマホ講座を開催する。当講座は、既にスマホを持っている方を対象に、インターネットの使い方に特化した内容で実施する。							
協力機関 及び団体	①市情報政策課 ②(株)ジェイコム埼玉・東日本 越谷・春日部局		特色 位置づけ	DX推進の一環としての事業		SDGs の目 標No	4・17	
会場	武里地区公民館 研修室1		教材 資料等	講師作成資料				
実施までの経過	10月13日 市情報政策課と打合せ 11月 1日 公民館だより11月号で告知 11月18日 受付開始 12月13日 講座開催日		PR方法	公民館だより				
			受付方法	武里地区公民館で直接または電話により先着順に受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
12月13日(火)	13:30~14:30 15:30~16:30	第1回 第2回	実習 実習	2 1	6 6	8 7	(株)ジェイコム埼玉・ 東日本 越谷・ 春日部局	
2回	2時間00分			3	12	15		
企画運営上の工夫	・インターネットを使う際の注意点にも触れることで、詐欺等への注意喚起を図る。							
成果 参加者の声など	・満足の声のほか、「家に帰った後も勉強して、再度参加したい」といった声もあった。 ・事前に疑問がはっきりしていた方にとっては、課題解決ができた講座となった。							
課題と展望	事前に質問したいことが明確だった方は、それを解決することができ、満足度が高かった。一方、何を学びたいか分からなかった方(スマホを購入したばかりの方等)にとっては、「検索が出来た」という経験をするにはできたが、時間が足りず、「わからなかった」という結果になってしまった。「インターネット」の中にも様々なものがあり、学びたいことは様々であるため、個別対応を主とした講座とすることを検討したい。							

武里地区 11

事業名 テーマ	えんJOYトレーニング		対象	一般		定員	20名	
ねらい	「いつまでも元気」を目指して地域の中で行う介護予防体操のえんJOYトレーニングを、市民の自主的なトレーニング活動として運営協力者であるサポーターの育成を含めて行い、地域住民の健康増進を図る。							
協力機関 及び団体	共催：第4地域包括支援センター 協力：介護保険課		特色 位置づけ	年間を通した事業 様々な団体との連 携	SDGs の目 標No	3・4・11		
会場	武里地区公民館 講堂		教材 資料等	えんJOYトレーニングハンドブック				
実施ま での経 過	前年度より継続		PR方法					
			受付方法	欠員時に申込を受付				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数	えんJOYトレーニング	実習	7	51	58		
4月5・12・19・26日	10:00～11:30			6	46	52		
5月3・17・24・31	10:00～11:30			8	27	35		
6月7・14・21・28日	10:00～11:30			4	38	42		
7月5・12・26日	10:00～11:30			3	68	71		
8月2・9・16・23・30日	10:00～11:30			2	43	45		
9月6・13・27日	10:00～11:30			3	39	42		
10月4・18・25日	10:00～11:30			3	79	82		
11月1・8・15・22・29	10:00～11:30			3	48	51		
12月6・13・20・27日	10:00～11:30			2	38	40		
1月17・24・31日	10:00～11:30			5	38	43		
2月7・21・28日	10:00～11:30			3	71	74		
3月7・14・21・28日	10:00～11:30			49	586	635		
45回	67時間30分							
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・時節にあった、関心の高いテーマを設定。 ・第4地域包括支援センター、介護保険課、サポーターと話し合いながら進めた。 							
成 果 参加者の 声 など	体を動かす機会となって良いやサポーターによるダンスが楽しいといった毎回の参加を楽しみにする声があった。							
課題と展望	参加希望者が多くなる一方、サポーターの数が少ないため、負担が多くなってしまう。 サポーターの数を増やし、別の日程の回も開催できるようにしていきたい。							

事業名 テーマ	パソコンの操作を学ぼう！		対象	一般		定員	各回 10名	
ねらい	パソコン初心者を対象に、日常生活に役立つ「ワード」や「エクセル」の基礎的な知識や技術を学ぶ機会として実施する。また、地域の方々が、教え合い、学び合う学習活動を通じて、交流を図る機会とする。							
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	市民ボランティアの協力により 運営		SDGs の目 標No	4・11・ 17		
会場	武里地区公民館 会議室1・2または研修室1		教材 資料等					
実施ま での経 過	4月23日(土) ボランティアスタッフ打合 せ 公民館だよりで広報		PR方法		公民館だより			
			受付方法		武里地区公民館で直接または電 話により先着順に受付			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回 数	総時間数							
5月28日(土)	14:00~16:00	参加者の疑問・課題解決	実習	1	4	5		
6月25日(土)	14:00~16:00			0	4	4		
7月30日(土)	14:00~16:00			1	4	5		
8月20日(土)	14:00~16:00			1	4	5		
9月17日(土)	14:00~16:00			1	2	3		
10月22日(土)	14:00~16:00			2	2	4		
11月26日(土)	14:00~16:00			0	2	2		
12月17日(土)	14:00~16:00			0	1	1		
1月28日(土)	14:00~16:00			0	2	2		
2月25日(土)	14:00~16:00			3	2	5		
3月25日(土)	14:00~16:00			4	5	9		
11回	22時間			13	32	45		
企画運営上 の工 夫	<ul style="list-style-type: none"> 参加者とボランティアスタッフとの講座内容を通じて交流や学びが多くある事業とした。 Wi-Fiを利用したの疑問・課題にも一部取り組んだ。 							
成 果 参 加 者 の 声 など	<ul style="list-style-type: none"> 講座当日に不明な点をわかりやすく説明していただき助かりました。 自分自身の活動に反映できることを学べたとの声もあり、広がりがある講座内容にもなった。 							
課題と展望	Wi-Fiが利用できる環境となり、参加者からもインターネットについての疑問などがあり一部取り組んだ回もあったのでさらに講座内容の幅を広げ対応できるかを検討していきたい。							

事業名 テーマ	教養講座 ①春の散策～いにしえウォーク～ ②秋の散策～紅葉を楽しむ武里歩き～		対象	成人一般		定員	①20人 ②20人	
ねらい	地域住民に、市内及び近隣の歴史や産業を学ぶ機会を作り、郷土への理解や関心を深めてもらう。また、参加者同士のコミュニケーションをとる機会とする。							
協力機関 及び団体	春日部市生涯学習市民推進員 (武里地区・武里南地区)		特色 位置づけ	大枝公民館との 共催事業		SDGs の目 標No	4・11	
会場	①粕壁地内 ②武里地内		教材 資料等	散策のしおり				
実施ま での経 過	① 3月 生涯学習市民推進員と打合せ 4月 6日 (水) 現地踏査 (行程決定) 5月 1日 (土) 公民館だより5月号 5月12日 (水) 申込受付開始 ② 9月 生涯学習市民推進員と打合せ 9月 9日 (金) 現地踏査 (行程決定) 11月 1日 (火) 公民館だより11月号 11月11日 (金) 募集開始		P R 方法	①公民館だより5月号 ②公民館だより11月号				
			受付方法	①5月12日 (水) ②11月11日 (金) 午前8時30分から、先着順に武里地区公民館と武里大枝公民館で直接または電話により先着順に受付				
月日 (曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
①5月25日 (水)	9:00～12:30	春日部駅 (出発) →商家の蔵→最勝院→八幡神社→加藤楸邨句碑→中央公民館 (解散) 武里駅 (出発) →勝林寺→須賀稻荷神社→圓福寺→大池親水公園→武里地区公民館	見学	3	12	15	生涯学習市民推進員 春日部観光ボランティアの会	
②11月25日 (金)	9:00～12:00			3	16	19		
2回	6時間30分			6	28	34		
企画運営上の工夫	①新型コロナウイルス感染拡大の観点から半日での実施とし、2班体制での行動とした。春日部観光ボランティアの会の方に講師を依頼し、史跡をより深く学習できる機会とした。 ②生涯学習市民推進員が分担して各所の説明や歌の時間を設けるなど、各自の得意分野を生かしてより楽しめる事業を目指した。							
成果参加者の声など	①天候に恵まれ、粕壁地区の史跡等を深く知る散策となり、参加者からは、身近な発見があったなどの声もあった。 ②紅葉を十分楽しむことができたため参加者の反応はよく、また生涯学習市民推進員の一人が主導となり、紅葉の中で歌う趣向は非常に好評であった。							
課題と展望	事業開始以来市内の数多くの史跡や名所を散策しており、散策コースの選定であらたな散策地を定めることが課題となりつつある。今後は、過去の散策場所でも楽しく魅力ある企画を付加するなど、内容を充実させて実施できるよう、生涯学習市民推進員と連携を図ることが求められる。							

事業名 テーマ	教養講座 学生支援事業 ～自分でできた！を応援～ 夏の短期集中自習室		対象	小・中学生		定員	各回30人	
ねらい	クールオアシスである公民館の部屋を環境を整えた上で開放することで、小・中学生に夏休みの宿題等の自主学習に取り組む場を提供する。また、学生ボランティア等に質問対応を実施してもらうことで、異年代とのコミュニケーションの場とする。							
協力機関 及び団体	・共栄大学(学生ボランティア) ・「春日部市二十歳を祝う会 実行委員会 企画運営部会」有志 ・市社会教育課		特色 位置づけ	夏休みの自主学習を支援する事業		SDGs の目標No	4・17	
会場	武里地区公民館 2階 会議室1・2		教材 資料等	各自持参				
実施までの経過	7月 1日 公民館だより7月号 7月12日 近隣5小学校にチラシ配布		PR方法	公民館だより7月号				
			受付方法	当日、先着順で受付。				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数							
8月6日(土)	9:00～18:00	自主学習	学習	1	8	9	質問対応スタッフ のべ15人	
8月7日(日)	9:00～18:00	自主学習 ※小学生は17:00まで。 ※12:00～13:00は、 換気と消毒のため 使用不可。	学習	4	3	7		
2回	16時間			5	11	16		
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強に集中できる静かな環境とするため、2階はサークルの受付を停止した。 ・座席の移動、私語、食事禁止。携帯電話はマナーモードにし、室内での通話は不可とした。 ・市社会教育課協力のもと、ボランティアスタッフによる質問対応を行った。 							
成果 参加者の声など	参加者の年齢や、学習内容は、多岐にわたっていた。また、「集中できた」「勉強を教えてくれる人がいた方がいい」との声が多かった。							
課題と展望	市社会教育課協力のもと、共栄大学の学生ボランティアの皆さん及び「春日部市二十歳を祝う会 実行委員会 企画運営部会」有志の皆さんが質問対応をしてくれたが、参加人数が少なく、質問の無い時間帯もあった。ただし、参加人数が少なかったからこそ、その場で復習の問題を個別に作成する等の対応をしてもらえ、内容の濃い事業となったが、次回実施の際は、より多くの小・中学生に参加してもらえるよう、内容や実施方法について再度検討したい。 (土日は家族で出かけるとの声もあったため、地域の保護者からよく話を聞き、平日の実施を検討する等、多くの参加者に集まってもらえるようにしたい。)							



事業名 テーマ	武里市民センターまつり		対象	一般	定員	各部屋ごとに設定
ねらい	公民館利用者の学習成果の発表及び公民館自主企画等の実施を通じて、利用者相互の交流と地域住民の公民館活動への理解を深めると共に利用者の拡大を図る機会とする。ただし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者を把握することや、3密を避けることなどを徹底し、慎重に実施する。					
協力機関 及び団体	<ul style="list-style-type: none"> 武里市民センターまつり実行委員会 運営協力員 武里公隣防災対策連絡協議会 明治安田生命保険相互会社 	特色 位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会形式 管内の幼稚園、保育所(園)、小・中学校連携 	SDGs の目標No	11	
会場	武里地区公民館(全館)・寿楽荘		教材 資料等	プログラムにより異なる		
実施までの経過	6月14日～7月5日 参加申込受付 7月23日 第1回実行委員会 10月1日 第2回実行委員会 10月26日 事前会場準備 10月27日 学校等展示作品搬入 10月28日～30日 開催日 10月31日 学校等展示作品搬出		PR方法	公民館だより6月～10月号(周知・参加募集) ブログにて周知 管内の保育所(園)及び小、中学校でのチラシ配布及びポスター掲示依頼		
			受付方法	(展示・ステージ・歌自慢) 公民館窓口にて参加申込書を配布(見学) 自由 ※ステージの部のみ整理券		
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者		講師・助言者の職名 氏 名
回数	総時間数			男	女	
10/28(金)	9:00～17:00	展示・企画 展示・ステージ・企画 展示・ステージ・企画 (展示・ステージ・企画内訳) (展示の部) ※公民館利用サークル・個人作品展示 ※うちdeつくろう! 応募作品展示 ※地域の子どもの作品展示 ※新規サークル企画作品展示 ※防災展示 (ステージの部) ・ステージ発表 ※公民館利用サークル(企画) 28日 ベジチェック&血管年齢チェック 29日 たけさと 歌自慢!! 30日 名刺を作ろう! & ネームプレートを作ろう!	鑑賞・体験		 	
10/29(土)	9:00～17:00		鑑賞・体験			
10/30(日)	9:00～15:00		鑑賞・体験			
3回	22時間			309	604	913
企画運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止対策をしつつ、来場者が参加しやすい運営方法へと変更した。 来場者に来館者記入票の提出をしてもらい、ステージの部においては整理券の配布した。 開催日の各日ごとに、ステージの部と展示の部以外の企画を行った。 					
参加者の声など	<ul style="list-style-type: none"> ステージ・展示の部ともに閉塞感を払拭する感想などをいただいた。 公民館感染防止ガイドラインに沿った運営ができた。 日頃公民館や寿楽荘を利用しない方にもご来場いただけた。 					
課題と展望	<ul style="list-style-type: none"> 規制緩和(感染防止対策等)が進むなかでの開催となり一部新たな試みを実施した事業となったが、さらに工夫を加え実施できるような方法・手法を検討していく。 今回、実施した新規企画も好評であったので継続していけるようアップデートを図る。 					

事業名 テーマ	令和4年度春日部市民体育祭 第62回武里地区体育祭		対象	一般		定員	種目ごと	
ねらい	地区住民が主体的に開催し、誰でも気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションの祭典とする。また、地区住民の健康と体力の向上及び親睦を深めることにより、健全な地域の発展を図る。							
協力機関 及び団体	主催：春日部市 武里地区自治会連合会 武里地区公民館 武里東公民館 主管：武里地区体育祭実行委員会		特色 位置づけ	武里地区内の自治会のコミュニティ醸成の場として、また、体育振興の場として実施する。		SDGs の目 標No	3・11	
会場	武里小学校校庭		教材 資料等					
実施ま での経 過	5月18日(火) 武里地区自治会連合会 会長、副会長及びスポ ーツ推進委員と事前協 議		P R 方法	・公民館だより7月号で体育祭開 催日程等を周知 ・公民館だより9月号で中止につ いて周知				
	5月29日(土) 市実行委員会で中止が 決定 6月5日(土) 関係者へ中止の通知を 発送		受付方法					
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回数	総時間数			男 計	女 計	合計		
5月17日(火)	19:00~19:45	事前打合せ	会議	1	11	12		
6月19日(日)	17:00~18:00	企画運営会議	会議	15	1	16		
7月16日(土)	10:00~10:45	地区代表者会議	会議	43	6	49		
10月9日(日)		体育祭		中止	中止	中止		
3回	2時間30分			59	18	77		
企画運営上 の工夫	・新型コロナウイルス感染拡大防止を図りつつ、開催する方策を検討した。 ・体育祭は中止となったが、次年度につなげるため、競技用具の点検等を実施した。							
成 果 参加者の 声 など	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。							
課題と展望	地区代表者会議において、「武里地区としては開催に賛同できない」との声が多数であった。実施内容については、企画運営会議での承認はされていたが、次年度開催となった場合には、改めて関係者との協議を入念に行った上で進めていきたい。							

武里地区 17

事業名 テーマ	人権教育研修会		対象	公民館利用者 及び利用予定者	定員	武里200名 武里東 150名	
ねらい	人権についての学習機会をつくり、人権意識の高揚を図る。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	公民館利用者会 議とあわせて実 施	SDGs の目 標No	4・10・ 11		
会場	①武里地区公民館講堂 ②武里東公民館大会議室		教材 資料等	DVD映画 「家庭からふりかえる人権 話せて よかった」			
実施ま での経 過	12月15日 (木) 開催通知配布 1月1日(日) 公民館だより1月号 1月24日(火) 申し込み締め切り	PR方法	開催通知(窓口配布) ポスター 公民館だより1月号				
		受付方法	1月24日(火)までに参加希望会場 に直接または電話で。				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
1月28日(土)	11:00~11:30	武里地区公民館	鑑賞	15	17	32	
1月28日(土)	14:45~15:30	武里東公民館	鑑賞	4	3	7	
		※両館ともにDVD上映					
2回	1時間15分			19	20	39	
企画運営上 の工夫	身近に起きている人権の問題をDVD上映を通じて、啓発の機会となるようにした。						
成 果 参加者の 声 など	改めて感心を寄せられる内容でしたとの声があった。						
課題と展望	人権についての意識や知識を深める場となるよう引続き啓発に努めていく。						


事業名 テーマ	サークルスタート ①ワードでイラストを描いてみよう！ ②折り紙クラブ ③簡単！ウッドクラフトに挑戦		対象	一般	定員	①15人 ②10人 ③10人	
ねらい	サークルを新たに立ち上げることまで見据えた講座を開くことにより、地域住民のサークル活動への自主参加の機会を作る。サークル活動開始後も、サークルが継続して活動できるよう支援する。						
協力機関 及び団体			特色 位置づけ	①ワードの基本的な操作ができる方を対象とする。 ②折り紙を基礎から応用まで学べる場とする。 ③木工経験がないが興味のある初心者を対象とする。		SDGs の目 標No 11	
会場	①武里地区公民館 会議室1 ②武里地区公民館 会議室2 ③武里地区公民館 会議室2		教材 資料等	①講師作成資料 ③講師作成			
実施ま での経 過	①4・5月 講師折衝及び打合せ 6月1日(水) 公民館だより掲載 ②5月 講師折衝 6月 正式依頼 講座詳細を決定 8月1日(月) 公民館だより掲載 ③9月 講師折衝 12月1日(木) 公民館だより掲載 12月23日(金) 講師依頼 講座詳細を決定		PR方法	①公民館だより6月号、チラシ ②公民館だより8月号 ポスター、チラシ ③公民館だより12月号			
			受付方法	①6月16日(木)から武里地区公民館に直接または電話で。 ②8月2日(火)から武里地区公民館に直接または電話で。 ③12月16日(金)より、武里地区公民館に直接または電話で。			
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男	女	合計	
回数	総時間数			計	計	合計	
①7月7日(木)	14:00~16:00	基本的な図形の使い方		2	3	5	長山 洋
7月14日(木)	14:00~16:00	ホテルを描いてみよう		2	2	4	
7月21日(木)	14:00~16:00	チューリップ&テントウムシを描いてみよう		2	3	5	
②8月31日(水)	10:00~12:00	講習(作成方法等) 鶴・ひまわり作成		0	10	10	吉原 眞理子
9月7日(水)	10:00~12:00	くす玉・人形作成		0	10	10	
9月28日(水)	10:00~12:00	くす玉・人形作成		0	10	10	
③1月27日(金)	13:00~15:00	ハンギングスタンド・ウェルカム ボード		0	4	4	大竹 政行
2月3日(金)	13:00~15:00	ミニ椅子①		2	8	10	
2月10日(金)	13:00~15:00	ミニ椅子②		中止	中止		
企画運営上 の工夫	①現在の定期利用団体と活動日時や部屋が重ならないように配慮した。また、講座終了後に活動を続けることに備え、3か月分の部屋を事前に確保した。また、サークル立上げの際には、サークル規約の例を提供するなど、継続的に活動していく上で必要になる部分についても支援した。 ②会場内のテーブルをコの字にし、講師と参加者が共に学習しやすい環境とした。作品については、完成品を机やホワイトボードに展示し折り紙の立体感を伝えやすくした。 ③ある程度簡単な作業で行えるようにすることで、参加者同士でコミュニケーションを取りながら作業を行えるようにし、互いに教えたり協力して活動できるような環境をつくった。						
成果 参加者の 声など	①これまでの武里地区にはなかった種類の作品を作るサークルが立ち上がった。また、武里市民センターまつりにも新しい種類の展示品を増やすことができた。 ②この企画を計画していただきありがとうございましたと喜びの声をいただいた。また、初めてなので難しかったなど初心者の方の参加もあった。 ③下準備を行っていたため、作業を楽しみながら会話をし参加者同士の交流を図ることができた。また参加したいなどのご意見があり、自分で作ることの楽しさを感じる方も多かった。						
課題と展望	2事業についてはサークルとしてスタートすることとなり、どちらも講師による指導が必要となるため、講師の協力を得て活動を継続している。今後も引き続き、参加者のニーズを踏まえサークルの立ち上げを見据えた事業を展開していきたい。						

武里地区 19

事業名 テーマ	①令和4年度武里地区公民館利用者会議 ②令和4年度武里東公民館利用者会議		対象	公民館利用者 及び利用予定者	定員	武里200名 武里東 150名	
ねらい	新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえた公民館の利用方法及び、利用者と公民館との連絡調整を行い、公民館の円滑な利用を図る。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	人権教育研修会 とあわせて実施	SDGs の目 標No	4・11		
会場	①武里地区公民館講堂 ②武里東公民館大会議室		教材 資料等	会議資料 公民館へのご意見・ご要望			
実施ま での経 過	12月15日(木) 開催通知配布 1月1日(日) 公民館だより1月号 1月24日(火) 申し込み締め切り		P R 方法	開催通知(窓口配布) ポスター 公民館だより1月号			
			受付方法	1月23日(日)までに参加希望会 場に直接または電話で。			
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名
				男 計	女 計	合計	
回 数	総時間数						
1月28日(土)	10:00~11:00	武里地区公民館	講義	15	17	32	
1月28日(土)	14:00~14:45	武里東公民館	講義	4	3	7	
2回	1時間45分			19	20	39	
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・開催案内について公民館利用者(団体)に幅広く行き渡るよう掲示や窓口での周知を実施した。 ・同時に人権教育研修会を開催し啓発に努めた。 ・当日参加できなかったサークルには会議資料を後日配布した。 						
成 果 参 加 者 の 声 など	公民館からの説明に対する質疑応答では、公民館利用者(団体)と公民館との円滑なコミュニケーションの場のひとつとなった。						
課題と展望	公民館利用者(団体)に利用規則や利用方法を幅広く理解してもらえる機会となるので、多くの方が参加できるよう周知等を工夫していく。						

事業名 テーマ	グラウンド利用団体代表者調整会議		対象	グラウンド利用者及び利用予定者	定員	特定せず	
ねらい	公民館グラウンドの円滑な利用を図る。						
協力機関 及び団体		特色 位置づけ	グラウンド利用団体及び利用予定団体による利用枠調整	SDGs の目標No	11		
会場	武里地区公民館 研修室1		教材 資料等	会議資料			
実施までの経過	実施月の公民館だよりで告知		PR方法	公民館だより			
			受付方法	当日受付			
月日(曜)	時間	内容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏名
				男 計	女 計	合計	
回数	総時間数						
4月24日(日)	14:00~14:45	翌月・翌々月分の利用枠調整	協議	19	3	22	
6月19日(日)	10:00~10:30	〃	協議	16	3	19	
8月21日(日)	10:00~10:30	〃	協議	17	4	21	
10月16日(日)	10:00~10:50	〃	協議	18	4	22	
12月18日(日)	10:00~10:50	〃	協議	15	3	18	
2月19日(日)	10:00~11:00	〃	協議	18	3	21	
6回	4時間25分			103	20	123	
企画運営上の工夫	グラウンド利用の枠を協議する場としてだけでなく、新型コロナウイルス感染拡大防止や、熱中症・運動時の怪我防止等と呼びかける場にもした。また、「自分たちのグラウンド」という意識を持ってもらえるよう、利用団体による除草作業も行った。						
成果参加者の声など	グラウンドの利用がスムーズに進んだだけでなく、グラウンドの状況や団体の活動状況によって職員に話をしてくれる機会が増えた。						
課題と展望	利用者団体の意見や要望を聞きつつ、グラウンドの円滑な利用を図るため、今後も会議を実施していきたい。また、定期的な除草作業を行ってはいるものの、草の根がしっかりと張ってしまっていることから土の入れ替え等の整備を行うことが課題である。						

事業名 テーマ	小中学生期家庭教育学級 「アンコンシャスバイアスを知る ～子どもたちがいきいきと活躍する ために」		対 象	小中学生の保護 者及び一般		定員	70名	
ねらい	子どもを持つ保護者が、家庭教育の機能を高めるために学習を深め、親の役割を自覚することにより心豊かな子どもの健全育成を図る。家庭における教育機能の向上を目指し、また地域の大人も子どもへの対応等を学ぶことにより、あわせて地域の教育力も高める。							
協力機関 及び団体			特 色 位置づけ			SDGs の目 標No	4・5	
会 場	武里地区公民館 講堂		教 材 資料等	レジュメ				
実施まで の経過	9月16日(金) 講師依頼 10月1日(土) 公民館だより掲載 10月21日(金) 申込開始 10月25日(火) メール・ツイッター 配信		PR方法	公民館だより10月号 安心安全情報メール・ツイッター 武里エリア内7校・公共施設等 にチラシ、ポスターを配布				
			受付方法	10月21日(金)より、武里地区 公民館に直接または電話で。				
月日(曜)	時 間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
回 数	総時間数			男 計	女 計	合計		
11月26日(土)	10:00～12:00	アンコンシャスバイアスについて講演	講演	2	13	15	アンコンシャスバイアス研究所 杉本美晴	
1回	2時間			2	13	15		
企画運営上 の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での開催になるので、講堂を使用し会場を広くした。また、参加者の来館前の検温実施、手の消毒、部屋の使用後の消毒、飛沫感染防止対策等、3密の対策を十分に行った。 ・周囲の大人が子どもにどう関わるかといったことも含む、家庭教育・地域の教育力の向上を目指すことを目的として、保護者に限らず一般を対象に幅広く募集をかけた。 ・広く参加いただくため、管内の施設等に情報提供等を行った。 							
成 果 参加者の 声 など	講師がわかりやすい例をあげ話したことにより、参加者からは、「日々の生活の中でとても大切な部分だと思った」や「自分を問う機会となった」など、アンコンシャスバイアスについて理解を深めるきっかけや日常の振り返りの機会となった。							
課題と展望	学校を通してチラシ配布を行い、他施設やメールツイッターを使用して広報を行ったが、参加者は少なかった。今後はわかりやすい講演会名を使用したり、地域の学校やPTAと連携して開催するなどの開催方法を検討していきたい。							

事業名 テーマ	公民館だより「武里」の発行		対象	地区内全世帯		定員	発行部数 17,000部	
ねらい	公民館事業の案内や報告、地区内社会教育団体の行事や会員募集記事などを掲載し、学習情報を提供する。							
協力機関 及び団体			特色 位置づけ				SDGs の目 標No	4・11
会場			教材 資料等					
実施ま での経 過	毎月15日頃 記事編集 24日頃 印刷 月末 配布		PR方法					
			受付方法	掲載依頼記事は、前月10日まで に公民館に申込み				
月日(曜)	時間	内 容	方法	参加者			講師・助言者の職名 氏 名	
				男 計	女 計	合計		
回数	総時間数	公民館だよりの発行 A4両面刷 (A3の場合あり)						
12回								
企画運営上 の工夫	公民館事業等の情報を、分かりやすく伝えると共に、魅力ある紙面づくりに努め、公民館活動への参加や理解・関心を深めてもらえるように心がけた。							
成果 参加者の 声など	全戸配布を行っており、紙面を通して情報収集を行う方へ効果的に広報を行うことができる。							
課題と展望	見やすく、分かりやすい紙面づくりに努め、多くの方へわかりやすい情報発信をしていきたい。							